

1. 件名：日本原燃(株)濃縮・埋設事業所（加工施設）の使用前検査についての面談

2. 日時：令和2年8月24日 13時30分～14時15分

3. 場所：原子力規制庁2階会議室B（TV会議を利用）

4. 出席者

原子力規制庁

原子力規制部 検査グループ 専門検査部門

早川上席原子力専門検査官、館内主任原子力専門検査官、

佐山主任原子力専門検査官、清水検査技術専門職

日本原燃（株）

ウラン濃縮工場 濃縮保全部 課長 他1名

5. 要旨

○日本原燃（株）濃縮・埋設事業所（以下「事業者」という。）から、令和2年3月27日付け（令和2年5月25日及び令和2年8月7日付けをもって一部変更）で申請があった使用前検査について、資料に基づき設計及び工事の方法の認可申請書に係る補足説明があった。

- ・濃縮施設カスケード設備の主要配管の配管架構耐震補強部は、配管架構1S-001及び2S-001の2箇所であり、引抜防止ストッパにより補強する。
- ・金属胴遠心機撤去に伴う配管閉止は、1つのカスケードに対して5箇所の閉止を行う。
- ・検査対象に係る加工施設の性能に係る技術基準に関する規則（以下「性能技術基準」という。）に関する補正として、新設、更新、改造等の工事を伴うものの検査項目に対応した性能技術基準を整理した。

○原子力規制庁から、以下の内容を伝えた。

- ・補足説明の内容について、使用前検査実施要領書に反映する。
- ・濃縮施設カスケード設備の主要配管の配管架構耐震補強部の材料、ボルト径について、使用前検査の耐震検査で確認する。

○事業者から了解した旨の回答があった。

6. その他

資料：ウラン濃縮工場使用前検査に関する補足説明について